

【協働探究学習】 那須与一はどうやって扇の的を射抜いたか

「那須与一はどうやって扇の的を射抜いたか？」

2年生の協働探究学習で機械・ロボット科の1名の生徒が江津土建株式会社様にお世話になって探究しているテーマです。

10月30日（木）、放課後に江津土建株式会社の社員の方にパネルを設置していただき、当校の弓道部員がまずはパネルを射抜くことができるかに挑戦しました。

76m先にある青色のパネルはとて小さく見えますが、実際には畳2枚分の大きさです。

弓道競技の遠的競技では60mですが、今回の距離は更に16m遠くなっています。

この日は弓道部員はこの2畳分のパネルを射抜くことはできませんでした。他方、当校の弓道部顧問は2本射抜きました。さすがです。

那須与一はこの距離で更に小さい扇の的を馬上から射抜いています。多分、76m先の扇はほとんど見えないのではと思います。

近日中にもう一度、実験をする予定です。

机上の空論ではなく、やってみたいことを実際にやってみることが大切です。そして、それをするのが当校の協働探究学習の楽しさです。

そして、高校生のやりたいことに協力してくださる江津土建株式会社様のような素晴らしい企業様がたくさんあるのが、この地域のすばらしさです。江津土建株式会社様、ありがとうございます。

弓道部顧問の指導のもと、安全には十分配慮して実験を行っています。



SNSにも掲載します



@GOTSU_TECHNICAL